

連携自治体紹介シート

自治体名	愛媛県内子町
自治体の概要	<p>当町は愛媛県のほぼ中央部に位置し、県都松山市から約40kmの地点にあります。令和5年4月1日時点の人口は、15,355人。面積は299.43Km²で町域の約8割を山林が占めています。</p> <p>山間の小さな町ですが、市街地には江戸後期から明治時代にかけて製蠟業で栄えた美しい佇まいの町並みが今も残っており、町の中心部から少し足をのばすと、棚田や屋根付き橋、水車などの美しい農村風景が広がっています。</p> <p>年間を通じて温暖な気候であることから、柿をはじめ、栗、ぶどう、梨、桃などの落葉果樹の産地となっています。</p>
アクセス方法	羽田空港⇒松山空港⇒JR松山駅⇒内子駅まで約2時間30分
主な特色 PRポイント	<p>町の中心部には、重要伝統的建造物群保存地区に選定されている「八日市・護国地区」があり、大正5年に創建された「内子座」など4件の建造物が重要文化財に指定されている県内有数の観光地となっています。</p> <p>全国に先駆けて開設した道の駅「内子フレッシュパークからり」は、平成27年に全国6か所のモデル道の駅に選ばれたほか、平成29年にはからり直売所出荷者運営協議会が内閣理大臣賞を受賞。年間約80万人の利用があります。</p> <p>また、伝統的な手漉き和紙の産地としても知られ、その和紙を使用した「いかざき大凧合戦」は400年の歴史を持ち、日本三大凧合戦の一つに数えられています</p>
主な地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ・農林業や商工業従事者の高齢化が進み、担い手が不足することで耕作放棄地や放置森林の増加、商店街の空き店舗増加が大きな課題となっています。そのため、農林業では新規就農者の確保や、林業事業者への就業支援のほか、農産物のブランド化や販路開拓に取り組んでいます。また、商工業では町内における創業・起業、空き店舗の活用、事業拡大及び事業承継を支援していますが担い手不足の解消には至っていません。 ・少子化問題が大きな課題となっています。当町では令和3年度より高校生以下の医療費負担を無料にしたほか、令和4年度には、放課後児童クラブ2施設を整備するなど、保育サービスの充実により働きながら安心して子育てができる環境整備に取り組んでいます。少子化に歯止めが掛からないため、さらに追加の支援が必要となっています。



八日市・護国の町並み

道の駅
内子フレッシュパークからり